

おひさま



令和5年2月1日

磐田中部小学校

第2学年 2月号

3年生に向かってスタートを切りました！



- 寒い日が続いています。体育の時間や昼休みに時間を見つけてなわとびの練習を頑張る子供の姿がたくさん見られました。なわ跳びカードを使いながら、子供たち一人一人の目標が達成できるよう励ましていきたいと思えます。コロナウイルス感染症やインフルエンザ予防のため学校では、マスクの着用・手洗いを呼び掛け、換気に気を付けていきます。御家庭でも引き続き十分な体調管理をお願いします。

○県定着度調査の結果について

【国語】

- 漢字の読み書きの正答率が高かった。
- 「の、へ」などの助詞の使い方ができていた。
- 漢字の筆順の正答率が低く、特に「馬」という漢字の筆順に間違いが多かった。
- 「何が」、「どうする」といった主語と述語の関係を明らかにする問題では、主語を抜き出すことができなかった。

【算数】

- 二桁の足し算と引き算の筆算がよくできていた。
- 100のたばや色紙の枚数を正しく数え、合計の枚数を答えることができた。
- 掛け算の問題作りでは、「ずつ」や「～個分」、「～は全部で」など問題作りに必要な言葉をキーワードとして入れることができなかった。
- 100円ちょうどになるお菓子を選択する問題では、75円と35円のお菓子を選択する回答が多く、1の位の繰り上がりを忘れていた児童が多かった。

国語では、字形を整えるために筆順の大切さを意識したり、文章における中心的な人物や言葉に印をつけたりしていきます。また、算数では、問題に必要なキーワードを押さえたり、何を求めるかを明確にして立式後に筆算を使って答えの確かめをしたりします。

○書き取りのやり方の変更について

書き取り（漢字）の練習方法を変更しました。まず、漢字スキルを見て平仮名を書きます。その後、テストのように漢字を書いていきます。子供たちが自分で漢字の読み書きの学習ができるよう指導していきます。詳しくは、後日配布される「漢字書き取りのやり方」のお手本を御覧ください。



○家庭学習「掛け算」について

掛け算九九のテストに取り組んでいます。3年生になる前までに九九の暗唱に合格することが目標です。九九は、3年生のわり算へとつながる大切な基本です。1（いち）、4（し）、7（しち）、8（はち）と唱える九九にミスが多いことが気になりました。繰り返し練習することが大切です。御家庭でも九九カードを週に何度か順番を変えたり、子供の苦手な段の九九をまとめて最初に唱えさせたりするなどして、九九が着実に定着するように御協力いただけるとありがたいです。

○図画工作科「ともだちハウス」

粘土で作った「小さなともだち」が喜ぶような「ともだちハウス」を作ります。お手数をおかけしますが、ティッシュやお菓子などの箱の準備をお願いします。教科書P50, 51に作品例が載っていますので、そちらも御確認ください。



○生活科 おひさまたんけんたい5「花鳥園へ行こう。」

1月20日に掛川花鳥園に行ってきました。花鳥園がお客様のためにどんな工夫をしているのか、みんなが使う場所では、どのように過ごしたらいいのかを考えました。きれいな植物やお花、生き物に興味津々でした。

